

インドにもどこにも原発を売るな！

日印原子力協定の国会承認・批准反対



国会承認阻止は可能だ！

2月24日、「協定」の承認案が国会に提出されました。今後、予断を許さない情勢が続きますが、自民党議員からも「原発メーカーへのインド原子力賠償法の適用」の危惧が表明されるなど、与党も一枚岩ではありません。そして、78名の超党派議員が参加する「原発ゼロの会」は、私たち「国会承認反対キャンペーン」とともに承認案阻止のために奮闘されています。院内外の連帯した運動で「協定」の国会承認を阻止することは可能です。

「フクシマ事故」は収束してない

3月11日でフクシマ原発の過酷事故から6年を迎えます。現在でも事故原子炉の廃炉は進まないどころか、高線量のため内部調査すらままならない状況であり、「収束」とはほど遠い状況となっています。しかし、政官財の「原子カムラ」は、6割もの反対世論を無視して老朽原発も含めた原発の再稼働に躍起になっています。

原発は斜陽産業だ！

台湾、ベトナムは脱原発に舵を切った。

米原発会社の買収を直接の原因とする東芝の経営危機は、原発がもはや割の合わない不採算事業であることを明らかにしました。そして、台湾の脱原発方針、ベトナムの原発輸入中止決定など、世界中で脱原発が進んでいます。

日印原子力協定は最悪の協定

このような中、2016年11月11日に署名されたインドへの原発輸出のための「日印原子力協定」（以下「協定」）は、日本政府が約束していた「インドが核実験を再開すれば協力停止」も関連文書に趣旨を記載するにとどまる一方、インドに使用済み核燃料の再処理を容認するなど他国との原子力協定にも見られない最悪の内容です。

「日印原子力協定」国会承認反対署名 にご協力ください。

「協定」の国会承認に反対する署名にご協力をお願いします。4月末を第1次集約とさせていただきます。

インドでも3月、各地で抗議行動

インドでは、「協定」の国会承認反対もテーマとして、3.11を中心に原発予定地など各地で反核・抗議行動が展開されています。私たちは、「日印原子力協定国会承認反対署名」など様々な共同の取り組みをインドの仲間とともに進めます。



3.27 行動にご参加ください。

3月27日（月）、「原発ゼロの会」の協力を得て、下記の行動に取り組みます。ご参加をお願いいたします。

- 原発メーカー要請：9時（三菱重工本社）、10時（東芝本社）、11時（日立本社）
 - 外務省交渉：14時～15時（衆議院第1議員会館第4会議室）
 - 院内集会：15時～16時（衆議院第1議員会館第4会議室）
- 連絡先：三ツ林（090-8382-9487）

日印原子力協定国会承認反対キャンペーン（賛同 22 団体）：グリーンアクション、グループ：南アジアの原発と核兵器、原発いらぬ福島の人たち、原発メーカー訴訟原告団、原水禁（原水禁国民会議）、コアネット（戦略 ODA と原発輸出に反対する市民アクション）、さよなら原発神戸アクション、「しないさせない！戦争協力」関西ネットワーク、宗教者九条の和、首都圏反原発連合、たんぼぼ舎、特定非営利活動法人（NPO 法人）ピースデポ、特定非営利活動法人（NPO 法人）ふくしま地球市民発信所、とめよう原発！！関西ネットワーク、平和と民主主義をめざす全国交歓会、認定特定非営利活動法人（NPO 法人）FoE Japan、認定特定非営利活動法人（NPO 法人）原子力資料情報室、ノーニュークス・アジアフォーラム・ジャパン、緑のハーモニー調布、美浜・大飯・高浜原発に反対する大阪の会（50音順）